

観光地域づくり法人形成・確立計画

1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分	広域連携DMO・地域連携DMO 地域DMO	
観光地域づくり法人の名称	一般社団法人 奥むさし飯能観光協会	
マーケティング・マネジメント対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 埼玉県飯能市	
所在地	埼玉県飯能市	
設立時期	平成 28 年 4 月 1 日	
職員数	14人 うちDMO担当7人(常勤正職員7人) 観光案内所7名(正職員)	
代表者(トップ人材:法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者)	(氏名) 古島照夫 (出身組織名) 入間漁業協同組合	平成 30 年度より一般社団法人奥むさし飯能観光協会会長(代表理事)として、関係団体等多くの組織と係わり、調整役、取り纏め役となっており、在任期間中、様々な取組で成果をあげている。
データ収集・分析等の専門人材(CMO)※必ず記入すること	(氏名) 長嶋正典 (出身組織名) 一般社団法人 奥むさし飯能観光協会	グランドニッコー東京の営業企画部担当部長を経て平成 29 年度より、一般社団法人奥むさし飯能観光協会DMO設立支援専門員兼飯能市観光案内所所長に就任する。平成 24 年度から5年間、飯能市職員の接遇向上研修講師を務めた。
財務責任者(CFO)※必ず記入すること	柿沼伊予子 (出身組織名) 一般社団法人 奥むさし飯能観光協会	観光協会会計担当として、一般会計・収益事業会計全般を管理している。また過去に催行した協会主催のエコツアーの造成・販売・ガイド等を担当してきた。
プロモーション担当職員(専門人材責任者)	岡本知恵子(専従) (出身組織名) 一般社団法人 奥むさし飯能観光協会	観光協会主催の募集型企画旅行の造成・催行を担当し、令和元年度モニターツアーに添乗した。ホームページ等での情報発信も担っている。
データ収集・分析担当職員	小川佐穂利 (出身組織名) 一般社団法人 奥むさし飯能観光協会	観光事業者・交通事業者等より各種データの収集・分析を行う。協会主催旅行商品への添乗も行う。
プロモーション担当職員	影山理恵 (出身組織名) 一般社団法人 奥むさし飯能観光協会	観光案内全般を担うとともに情報発信、観光協会主催の募集型企画旅行の造成・催行を担当する。
旅行商品の造成・販売)の責任者(専門人材)	沼崎修一 (出身組織名) 一般社団法人 奥むさし飯能観光協会	国内旅行業務取扱管理者 国内旅程管理者

(別添) 様式 1

<p>連携する地方公共団体の担当部署名及び役割</p>	<p>飯能市 観光エコツーリズム推進課(観光全般、エコツーリズム) 産業振興課(観光事業者支援) 地方創生推進室(地方創生・メツアとの連携) 情報戦略課(情報発信) 賑わい創出課(アニメツーリズム) 生活安全課(路線バス維持) 水道事業課(飯能水) 博物館(市民ガイド養成) 農業振興課(農業体験、農林産物の開発) 森林づくり推進課(林業体験、農林産物の開発)</p>				
<p>連携する事業者名及び役割</p>	<p>飯能商工会議所(催事共催、各種商品開発、各種指標・情報収集分析) (公社)飯能青年会議所(誘客連携、催事協力) 飯能旅館組合(宿泊、飲食関連、個人団体誘致斡旋) 飯能市商店街連盟(催事協力、商品開発、販売提携) 特定非営利法人飯能市体育協会(スポーツ施設商品販売、スポーツ団体誘致、催事協力) 飯能市エコツーリズム推進協議会(各種観光商品開発、催事協力) 市内林業関連団体及び事業者(催事協力、物産開発協力) 飯能市農業青年会議所(催事祭事協力) 入間漁業協同組合(催事協力、河川情報提供) 市内キャンプ場団体(催事協力、利用客斡旋PR) 市内福祉団体(催事・商品開発、物販売協力) 駿河台大学(地域データ収集分析、インターンシップ等人材協力) 市内交通事業者(催事、集客、商品造成、情報提供協力) 飯能信用金庫(観光事業者への金融支援) 株ムーミン物語等観光事業者(誘客、催事協力) 地場食品・ご当地グルメ等取扱業者(販売促進の協力) 企画制作業者(マーケティング・PR協力)</p>				
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>観光、商工業、農業、林業、福祉等、幅広い分野の関係団体で構成される(一社)奥むさし飯能観光協会に、DMOを設置し、この組織内に関係団体、行政などをメンバーとする「観光開発WG」「物産振興WG」「情報発信WG」を設置する。</p>				
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>飯能市は、平成16年度に環境省のエコツーリズム推進モデル地区に指定されたことをきっかけに、エコツーリズム推進協議会と市が中心となり、地域住民の協力のもとにエコツーリズム事業を推進している。飯能市のエコツーリズムは、「全ての地域と住民の参加により地元への誇りと愛着を育む」ことを基本方針として掲げており、市民がガイドや資源探し、ツアーの企画運営に関わるなど、既に市民参画の観光地域づくりが進んでいるところである。今後は、このエコツーリズム事業をDMOとして取り組み、更なる地域住民の主体的参画を進める。</p> <p>また、HPやSNS、情報誌といった媒体を活用し、地域経済における観光振興の必要性やDMOの取組について理解を深めていただくため、積極的にDMOの取組を発信する。</p>				
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>(活動の概要)</p> <table border="1" data-bbox="440 1827 1430 2016"> <thead> <tr> <th data-bbox="440 1827 612 1877">事業</th> <th data-bbox="612 1827 1430 1877">実施概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="440 1877 612 2016">情報発信・プロモーション</td> <td data-bbox="612 1877 1430 2016">平成29年度 広報に関する事業 ホームページを一新し、外国語対応、GMS対応とした。</td> </tr> </tbody> </table>	事業	実施概要	情報発信・プロモーション	平成29年度 広報に関する事業 ホームページを一新し、外国語対応、GMS対応とした。
事業	実施概要				
情報発信・プロモーション	平成29年度 広報に関する事業 ホームページを一新し、外国語対応、GMS対応とした。				

(別添) 様式 1

<p>受入環境の整備</p>	<p>元年度 地域限定型旅行業登録 2年1月に募集型モニターツアーを催行(20名) 実験的に簡易版OTAに対応した。 2年度以降ツアー造成と催行(複数商品を定期催行) OTAの早期構築 市主幹のエコツアー事業との連携</p>
<p>観光資源の磨き上げ</p>	<p>・27年度 エコツアー3回 56名 28年度 エコツアー9回 127名 29年度 エコツアー5回 50名 30年度 モニターツアー 1回 14名 元年度 モニターツアー2回 65名</p>

(定量的な評価)

活動の概要)

前身の飯能市観光協会は平成27年6月に飯能商工会議所内に事務所を移行するとともに、飯能商工会議所が事務局を引き受けた。平成28年には法人化し、一般社団法人奥むさし飯能観光協会として観光振興に取り組んできた。

飯能春まつりの開催、市内外の各種観光事業への支援・協力、観光情報の発信のほか、エコツアーの開催や地産物の販売などを通じて観光客増加、滞在時間の拡大に取り組んできた。

令和元年5月には、地域限定旅行業に登録したことにより、着地型旅行商品の開発・販売に取り組んでおり、観光による地域産業の活性化に取り組んでいる。

※観光案内所販売額

平成30年度よりDMO設立支援専門職員として1名を雇用し、併せて、観光案内所所長を兼務する体制をとっている。DMO基盤となる自主財源の安定的な確保を目指すべく、①積極的な商品販売と売れ筋商品の拡大、②関係団体等が主催する市外催事への積極的な参加、③北欧の雰囲気を感じられるメッツァビレッジ開設に伴い、メッツァビレッジ内の地元物産コーナーへの出店に取り組んだ結果、販売額の増加につながった。

平成30年度 8,851,709円 3,761,565円増 174%増
平成29年度 5,090,144円

(別添) 様式 1

<p>実施体制 ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること(別添可)。</p>	<p>(実施体制の概要) 一般社団法人奥むさし飯能観光協会は観光業者のみならず、多様な業種(製造・建設・卸売・小売・金融・福祉・農業・教育等)、観光振興に協力的な個人も会員として参画し、その数は343会員に上る。 一般社団法人奥むさし飯能観光協会にDMOを設置し、この組織内に関係団体、行政などをメンバーとする「観光開発WG」「物産振興WG」「情報発信WG」を設置する。</p> <p>(実施体制図)</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-right: 10px;">奥 む さ し 飯 能 観 光 協 会</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">DMO事務局</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">観光 開発 W G</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">物 産 振 興 W G</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">情 報 発 信 W G</div> </div> </div> <div style="margin-left: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">飯能市</div> <div style="font-size: 2em; color: blue; margin: 0 10px;">←</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-right: 5px;">連 携 ・ 参 画</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 飯能商工会議所 (公社)飯能青年会議所 飯能旅館組合 飯能市商店街連 特定非営利法人飯能市体育協会 飯能市エコツーリズム推進協議会 市内林業関連団体及び事業者 飯能市農業青年会議所 入間漁業協同組合 市内キャンプ場団体 市内福祉団体 駿河台大学 市内交通事業者 飯能信用金庫 観光事業者 地場食品・ご当地グルメ等取扱業者 企画制作業者 </div> </div> </div>
--	---

2. 観光地域づくり法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

飯能市は、都心から約 50 km、埼玉県の南西部に位置し、緑豊かな山々と清流といった豊かな自然と、都心まで電車で最短 40 分といった公共交通ネットワークを有するなど、自然環境と都市機能が調和したまちである。

第 5 次飯能市総合振興計画では、宮沢湖周辺（ムーミンバレーパーク・メッツァビレッジ）、トーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園、天覧山・飯能河原といった市街地を取り囲む 3 つの観光スポットによる都市回廊空間を形成し、それぞれの魅力向上を図るとともに回遊性を高めることにより、多くの観光客を呼び込む（交流人口の増加を図る）こととしている。

また、この都市回廊空間における人の流れを、本市の 70% 以上を占める山間地域にまで波及させることで、飯能市の地方創生を目指している。

本市の山間地域には、1300m 以上の山岳や源流河川など、他を圧倒する自然環境に恵まれており、ハイキング、キャンプ、釣りといったアウトドアレジャーを目的に多くの観光客が訪れている。このように、市街地から山間地域まで、様々な魅力に合われている市域全体をフィールドとする。

【観光客の実態等】

本市の入込観光客数は、次のとおりとなっており、毎年増加している。理由としては、平成 30 年 11 月にメッツァビレッジがオープンしたこと、これに伴い多くの報道、メディア等に取り上げられたこと、それぞれの観光資源の魅力が向上していることなどが挙げられる。また、平成 31 年 3 月にはムーミン物語を追体験できるテーマパーク「ムーミンバレーパーク」が開業したほか、市街地に食をテーマにした新たなテーマパークや、山間地での新たな観光・交流拠点の整備など、今後、新たな観光スポットの新設も進められており、更なる観光客の増加を期待している。

(別添) 様式 1

平成 30 年	3,151,119 人	455,940 人増	16.9%増
平成 29 年	2,695,179 人	47,173 人増	1.8%増
平成 28 年	2,648,006 人	163,918 人増	6.6%増

【観光資源】

○自然

天覧山、飯能河原、名栗湖、棒の嶺など

○施設

メツァ (ムーミンバレーパーク・メツァビレッジ)、トーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園、アウトドア施設 (キャンプ場・バーベキュー場、釣り場、カヌー工房、ハイキングコースなど)、温泉

○食べ物・土産

武州飯能うどん、味噌付けまんじゅう、四里餅、飯能野菜・果物など

○宿泊施設・キャンプ場

ホテル (4 軒)、ビジネスホテル (2 軒)、旅館 (2 軒)、民宿・その他 (4 軒)、キャンプ場 (7 軒)
収容客数 877 人

○歴史・文化

武州世直し一揆、飯能戦争、竹寺、鳥居観音、下名栗諏訪神社獅子舞、古民家など

○イベント

飯能まつり、納涼花火大会、エコツアー (お散歩マーケットなど)、新緑ツーデーマーチなど

○その他

西川材、固定種野菜

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
観光入込客数	KPI 達成のため	飯能市と共同して収集
延べ宿泊者数	KPI 達成のため	宿泊施設から収集
旅行消費額	KPI 達成のため	宿泊・観光施設へのアンケート調査
来訪者満足度	KPI 達成のため	宿泊・観光施設でのアンケート調査
再訪率	KPI 達成のため	宿泊・観光施設でのアンケート調査
WEB アクセス数	KPI 達成のため	Google アナリティクス

4. 戦略

(1) 地域における観光を取り巻く背景

※地域経済、社会等の状況を踏まえた観光地域づくりの背景

行政人口の漸減傾向は改善されず、山間地域はより顕著となっている。東京圏にあって、条件不利地域を持つ自治体として山村振興法が適応されてもいる。都心に最も近い条件不利地域とも言える。観光関連産業はいくつかの大企業を除き中小・小規模事業者が殆どである。加えて、小規模施設が中心である。交通は、前述のように条件不利地域を抱えながらも非常に発達しており、副都心から僅か 40 分で結ばれ、最深部の条件不利地域の名栗にも電車とバスで 1 時間 30 分程度で行くこ

(別添) 様式 1

とができる。自然環境は万緑の森林と清澄な河川に恵まれ、100 を超える頂と 100 を超える源流域を持っている。東京に最も近い秘境とも言えるだろう。観光スタイルが大きく変貌しようとしている現在、少人数で、小規模ながら上質のサービスを楽しむ観光施設を廻る、新しい旅行様式が胚胎しようとしている。

(2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み (Strengths) 都心からの距離 都心からの交通アクセスの良さ 恵まれた緑と清流 メツァグランドオープン ハイキング・川遊び・キャンプの聖地 新参画によるエコツーリズムの実績 アニメの聖地 歴史・文化・祭り ゴルフ場の聖地	弱み (Weaknesses) マーケティング力の弱さ 情報発信力の弱さ 観光業・商業における後継者不足 宿泊利用の少なさ 土産品不足 インバウンド対応 Wi-Fi の整備状況 地域商業の衰退 狭隘な道路
外部環境	機会 (Opportunity) 圏央道の延伸 西武線の相互乗り入れ メディア露出の増加 登山客・ハイキング客の増加 自転車ツーリングの増加 BBQ ブーム インバウンド(東京プラスワンの場所) 東京オリンピック 人生 100 年時代	脅威 (Threat) 地域間競争(秩父・川越・日高等) 近隣観光地への通過点化 気象の変化(短時間豪雨等) 人口減少・高齢化

※上記に加え、PEST分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入(様式自由)。

(3) ターゲット

○第1ターゲット層 メツァ(ムーミンバレーパーク・メツァビレッジ)の来訪者
○選定の理由 平成30年11月にメツァビレッジ、平成31年3月にムーミンバレーパークが開業し、メツァとして年間100万人を超える来場者を予定している。メツァ来場者が新たな観光客として本市に訪れているため。
○取組方針 メツァ来訪者に、当日又は再訪時に本市を回遊していただくよう本市の魅力を発信するとともに、メツァと連携した各種観光振興(ツアー商品造成、ワンストップ窓口、人材育成、ネットワークの構築等)を進める。
○第2ターゲット層 ウォーキング、ハイキング、登山、キャンプ、サイクリング等、自然を愛するアウトドア目的の来訪者(カップル、女性グループ、ファミリー、シニアまで幅広い年齢層)

(別添) 様式 1

<p>○選定の理由 本市の特徴である「都心から最も近い大自然」を求めて、ハイキング、登山、キャンプ、サイクリングなどアウトドア目的の観光客が多く来訪しているため。</p> <p>○取組方針 アウトドア、スポーツアクティビティの聖地としてのブランド力を高めるとともに、交通、宿泊、飲食など多様な業種が連携し観光消費額の増加に努める。</p>
<p>○第3ターゲット層 訪日外国人、在日外国人</p>
<p>○選定の理由 メッツァ、トーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園といった北欧を感じさせる施設に外国人が多く来訪しているため。</p> <p>○取組方針 東京プラスワンとしての訪問先に選ばれるよう、都心からもっとも近い大自然という特性を生かすとともに、日本の中の北欧、フィンランドといったイメージを定着させ、特にアジア圏からの来訪者の増加に取り組む。</p>

(4) 観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	森林文化系観光のまち はんのう 東京に一番近い秘境
②コンセプトの考え方	<p>飯能市は、平成17年4月1日に、森林文化都市宣言を行った。この都市宣言は、飯能市が首都圏にあって奥武蔵の豊かな自然に恵まれたまちであり、その歴史・文化、人々の情感は、森林とともに育まれてきたことを踏まえ、これからも森林と人とのより豊かな関係を築きつつ、自然と都市機能とが調和するまちの創造をめざすことを宣言したものである。</p> <p>この考えを、観光振興にも取り入れるとともに、メッツァの開設により森林と共存するといった北欧の文化も加え、本市特有の自然と新たな観光を融合させ、地方創生の入口としての観光を進める。</p> <p>観光の様式が激変される現状を鑑み、条件不利地域の特性を利用し、開放・点在・少人数を前面に押し出した、小規模観光施設等を利用した長閑で快適な時間を提供する。</p> <p>SDGsに根差した物差しで、全てのDMO活動を貫くことで、少数ではあるが、高い意識を持った質の高い観光客が愛する場所を目指し、最終的には行政人口増に繋げていきたい。</p>

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有	総会、役員会、正副会長会議、DMO各ワーキンググループをはじめ関係団体等、多様な関係者を交えコミュニケーションと協議を重ね、情報共有や戦略の共有を図る。市産業環境部をはじめ関係部門との連携を図り、観光地域づくりを進める。

(別添) 様式 1

<p>※頻度が分かるよう記入すること。</p>	<p>多様な関係者の構成員は観光協会の役員(正副会長・監事・常議員(いわゆる理事))が全員である。役員会は2か月に一度の割合で開催しており、戦略の大筋は共有できているので、新たなネットワーク作りを取り掛かる必要はない。ただ、事業によっては同床異夢のような状態が散見されるので、細かい摺合せによる合意形成が必要となってくる。正副会長会議は適宜開催しており、役員会より頻度は高く、意思疎通は円滑である。</p>
<p>観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築</p>	<p>接遇マナーの向上を図るため、各種セミナーを実施する。 宿泊施設及び観光施設と連携し、お客様満足度調査を実施し、情報共有するとともに、ホスピタリティの向上を目指す。 飯能市博物館と連携し、市民ガイドの養成と質的向上を図る。 役員会、正副会長会議、DMO各ワーキンググループ内での情報共有と満足度調査結果に基づくPDCAサイクルの常態化を図る。 人材育成については、第一義的に内部職員の読解記述能力の向上と観光全般の知識を深化させるために日常的に新鮮な情報を獲得し共有し、根幹のしっかりした観光振興に努める。極論すれば、飯能の目指す観光(高い意識を持った質の高い観光客の誘致)にそぐわない来訪者は拒絶するくらいの意識を持つこと。</p>
<p>観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション</p>	<p>商工会議所会館内の協会事務局内に観光コンシェルジュ機能を設け、市と役割分担を行いながら、観光情報等の多言語化と一元的な情報発信に取り組み、観光よろず相談所(ワンストップ窓口の設置)として観光客の利便に供す。SNS等を活用し、ターゲットを意識した限定的、直接的なプロモーションを展開する。</p>

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

6. KPI (実績・目標)

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

(1) 必須KPI

指標項目		2017 (H29) 年度	2018 (H30) 年度	2019 (R1) 年度	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度
●旅行消費額 (百万円)	目標	()	()	20,650	241,800	266,500	292,400
	実績	()	17,706	()	()	()	()
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	()	()	80	90	98	103
	実績	()	74	()	()	()	()
●来訪者満足度 (%)	目標	()	()	56	57	58	59
	実績	()	()	()	()	()	()
●リピーター率 (%)	目標	()	()	88	89	90	90
		()	()	()	()	()	()

(別添) 様式 1

	実績	()	()	()	()	()	()
--	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

<p>【検討の経緯】 ※KPIとして設定する項目や年次及び目標数値に関して、その検討のプロセスや考え方を項目ごとに出来る限り具体的に記入すること。</p> <p>【設定にあたっての考え方】</p> <p>●旅行消費額 ・2017年に実施し埼玉県飯能市観光地域づくり調査研究業務報告書の資料に準拠した。外部委託先(株)JTB 関東法人営業川越支店</p> <p>●延べ宿泊者数 2017年に実施し埼玉県飯能市観光地域づくり調査研究業務報告書の資料に準拠した。外部委託先(株)JTB 関東法人営業川越支店</p> <p>●来訪者満足度 2017年に実施し埼玉県飯能市観光地域づくり調査研究業務報告書の資料に準拠した。外部委託先(株)JTB 関東法人営業川越支店</p> <p>●リピーター率 ・2017年に実施し埼玉県飯能市観光地域づくり調査研究業務報告書の資料に準拠した。外部委託先(株)JTB 関東法人営業川越支店</p>
--

(2) その他の目標

指標項目	単位	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度
WEB アクセス数	回	85,744	90,000	94,500	99,000	105,000	110,000

(3) その他の目標 SDGs 関連目標

地球全体で解決すべき開発目標「SDGs」に基づき、飯能DMOでは、DMOが携わる各種事業において、「SDGs」の各項目に該当する事項の有無を精査し、項目が標榜する事項が、事業の中にどの程度組み込まれ反映されたかアンケート調査を行い、検証し公表する。更に、関係団体と連携して「SDGs」の目標達成に継続して日常的に取り組む。

例えば、源流とダム、河川を廻る少人数のツアーを開催する場合、募集案内の中に、「当協会はSDGsの考え方に賛同し、SDGsの17項目の中の一つ、『安全な水とトイレを世界中に』の趣旨に沿ったツアーを催行します。」と明記し、源流域の水質が野生動物の増加の影響を受けていることやダムにより流域の水問題や洪水調整を行っていること、下水道の普及が進んでいない山間地の水質改善のために合併浄化槽設置に積極的に取り組んできた歴史や事業者の活動等を紹介し、それらを巡り、関係者からの説明を受ける内容にする。終了後、アンケート調査の中に、飯能まちづくり観光法人が取り組むSDGsに対して評価をいただく。

項目	設定にあたっての考え方
飢餓をゼロに	地元野菜のB級品を使った、フードロスを抑制する内容の料理教室(ワークショップ)の開催等を通じテ、エシカルコンシューマーを育てる。

(別添) 様式 1

すべての人に健康と福祉を	街歩き系、ハイキング系、登山系のツアーを開催する。社会的弱者への割引措置を講じ参加を促す。
質の高い教育をみんなに	各種ツアー商品の中に観光ガイドの活用、市立図書館学芸員・大学教授等による解説を入れ込む。
ジェンダー平等を実現しよう	DMO 事務局に積極的に登用する。
安全な水とトイレを世界中に	オーバーツーリズムの抑制と当協会が掲げる日本一きれいなまちを創る「飯能矜持」に取り組む。
エネルギーをみんなにそしてクリーンに	木質系燃料推進の啓発、エコツアー等を通じて間伐材再利用の促進や啓発を行い、当協会が掲げる日本一きれいなまちを創る「飯能矜持」に取り組む。
働きがいも、経済成長も	商工会議所との連携し、シニア層のガイド養成や中小・小規模観光事業者の経営改善を図る。
産業と技術革新の基盤をつくろう	商工会議所との連携し、新たな食や観光土産品の開発、西川材の普及拡大に努める。
人や国の不平等をなくそう	障害者団体・外国人団体の物産販売支援、販売協力、商品開発の支援する。
住み続けられるまちづくりを	観光によるバス路線の維持継続への協力と公共交通空白地有償運送「奥 武蔵らくらく交通」との協働を促進する。
つくる責任 つかう責任	オーバーツーリズムの抑制を図り、5 S 活動等を通じ当協会が掲げる日本一きれいなまちを創る「飯能矜持」に取り組む。
気候変動に具体的な対策を	オーバーツーリズムの抑制を図り、観光客に対するリスクヘッジに取り組みストレスフリーの環境を構築し、併せて協会の事業継続計画策定に取り組み、有事に備える。
海の豊かさを守ろう	オーバーツーリズムの抑制を図り、豊かな森林地帯を維持管理して、豊かな海を培う。
陸の豊かさも守ろう	固定種野菜の振興、地元農産品の6次化の支援を行う。
平和と公正をすべての人に	インバウンドを中心として、寺社などの宗教施設や東郷平八郎を顕彰する東郷公園を巡るツアーやワークショップを開催する。
パートナーシップで目標を達成しよう	関係団体との情報共有・共通目標（日本一きれいなまちを創る）化を図る。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後3年間について、計画年度毎に(1)収入、(2)支出を記入すること。

※現に活動している法人にあっては、過去3年間の実績も記入すること。

(1) 収入

年(年度)	総収入(円)	内訳
平成30年度	52,146,324	(内訳の区分例) 【飯能市補助金】 23,863,640 【飯能市負担金】 8,627,000 【会費収入】 3,200,000 【収益事業収入】 9,001,209 【協賛金等他収入】 7,454,475 (円)
令和元年度	52,115,000	【飯能市補助金】 24,500,000 【飯能市負担金】 8,841,000 【会費収入】 3,200,000 【収益事業収入】 8,880,000 【協賛金等他収入】 6,694,000 (円)
令和2年度	53,241,000	【飯能市補助金】 27,500,000 【飯能市負担金】 5,841,000 【会費収入】 3,300,000 【収益事業収入】 9,200,000 【協賛金等他収入】 7,400,000 (円)
令和3年度	53,941,000	【飯能市補助金】 28,341,000 【飯能市負担金】 5,000,000 【会費収入】 3,400,000 【収益事業収入】 9,500,000 【協賛金等他収入】 7,700,000 (円)
令和4年度	54,441,000	【飯能市補助金】 28,341,000 【飯能市負担金】 5,000,000 【会費収入】 3,400,000 【収益事業収入】 10,000,000 【協賛金等他収入】 7,700,000 (円)

(2) 支出

年(年度)	総支出	内訳
平成30年度	47,271,185	(内訳の区分例) 【一般管理費】 32,749,636 【商品原価】 4,235,576 【観光宣伝費】 3,399,709 【事業費】 6,886,264 (円)
令和元年度	52,115,000	【一般管理費】 35,815,000

(別添) 様式 1

		【商品原価】	4,300,000
		【観光宣伝費】	3,500,000
		【事業費】	8,500,000 (円)
令和2年度	53,241,000	【一般管理費】	35,815,000
		【商品原価】	4,500,000
		【観光宣伝費】	3,900,000
		【事業費】	9,026,000 (円)
令和3年度	53,941,000	【一般管理費】	35,815,000
		【商品原価】	4,700,000
		【観光宣伝費】	4,200,000
		【事業費】	9,226,000 (円)
令和4年度	54,441,000	【一般管理費】	35,815,000
		【商品原価】	5,200,000
		【観光宣伝費】	4,200,000
		【事業費】	9,226,000 (円)

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

区域を構成する地方公共団体における宿泊税の導入、着地型旅行商品の造成・販売等の取組・方針を記載

1. 観光商品(ツアー)の開発・販売、各種クーポンの発行
2. 商工会議所、観光協会会員事業者の商品開発とネット販売の開始
3. 市内観光スポット(運動公園、飯能河原等)での臨時出店販売
4. 飯能河原ステージ広場の営業
5. 市内観光レジャー、飲食施設等への斡旋業務
6. 飯能水の販路拡大と自主商品開発販売
7. 観光協会新規加入の促進

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

平成28年度に策定した「飯能市観光ビジョン」では、「体験型・着地型観光へのステップアップを図り、産業としての観光の形成という戦略性を重視した新しい観光ビジョンを掲げ、市の活性化や経済好循環により地方創生を目指す」としている。この度、奥むさし飯能観光協会の日本版DMOの形成・確立は、「飯能市観光ビジョン」の実現、本市における新たな観光の発展と地方創生につながるものと考えます。本市は、この奥むさし飯能観光協会の日本版DMOの形成・確立を全面的に支援するとともに、連携を密にし、観光振興に努めていく。

9. 記入担当者連絡先

担当者氏名	沼崎修一
担当部署名(役職)	(一社)奥むさし飯能観光協会事務局長
所在地	埼玉県飯能市本町1番7号

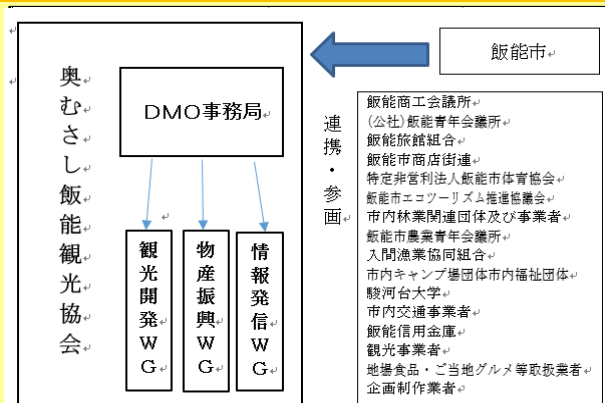
(別添) 様式 1

電話番号 (直通)	0 4 2 - 9 8 0 - 5 0 5 1
E - m a i l	hannokanko@gmail.com

10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	飯能市
担当者氏名	関根浩司
担当部署名 (役職)	参事 兼 観光・エコツーリズム推進課長
所在地	埼玉県飯能市大字双柳 1 番地の 1
電話番号 (直通)	0 4 2 - 9 7 3 - 2 1 2 4
FAX 番号	0 4 2 - 9 7 4 - 6 7 3 7
E - m a i l	kanko@city.hanno.lg.jp

(表：実施体制)



(表：KPI(実績・目標))※()内は外国人に関するもの

指標項目	単位	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度
観光入込客数	万人	315	350	390	410	430	450
延べ宿泊者数	人	74,554	80,000	90,000	98,000	103,000	108,000
旅行消費額	円/人	5,621	5,900	6,200	6,500	6,800	7,150
来訪者満足度	%	55	56	57	58	59	60
再訪率	%	87	88	89	90	90	90

RESAS JTB「Netss 経済効果分析等業務」より想定

【区域】埼玉県飯能市

【設立時期】平成28年4月1日

【代表者】代表理事 古島照夫

【マーケティング責任者】長嶋正典

【職員数】14

【連携する主な事業者】飯能商工会議所

A観光施設に対する取り組みを記載

トーベヤンソンあけぼの子ども森公園、メツツア、飯能河原・天覧山を結ぶ都市回廊空間への誘客を図るとともに、市街地での街並み散策等を担う市民ガイドの養成を図る。山間地に点在するキャンプ場、カヌー工房、フォーミュランド・ラー飯能、名栗湖、有間渓谷観光釣り場、古民家、平栗園、きまま工房木楽里、観光農園等各施設へ誘客を図る。

B自然に対する取り組みを記載

19のハイキングコースをはじめ、天覧山・多峯主山、関八州見晴台、蕨山、ウノタワ、棒ノ峰、日向沢ノ峰等、標高200mから1300mの100を超える山々への誘客とツアーの造成を図る。林道やハイキングコースを利用した自転車、トレイルラン等のスポーツイベントの開催に協力する。高麗川、入間川等の源流域を持つ河川が多く、遊漁の振興、川遊び等への誘客やリバーウォーク等のツアーの造成を図る。

区域図を挿入



C文化に対する取り組みを記載

市内各地に点在する寺社仏閣や古民家、歴史的建造物等への誘客を図るとともに、ツアーを造成する。子ノ権現天龍寺・竹寺・鳥居観音の3カ所を巡る旅、飯能七福神巡り、飯能街並み散策、夏まつり、名栗諏訪神社獅子舞、飯能まつり、工場見学等のツアーを造成する。

Dイベント商業施設に関する取り組みを記載

春まつり、新緑ツーデーマーチ、飯能夏まつり、ほたる観賞会、納涼大会、吾野宿まつり、諏訪神社獅子舞、駿輝祭、飯能まつり、はんのう生活祭・西川材フェア、もみじまつり、紅葉まつり、パンフェスタ、奥むさし駅伝、カレーフェスタ、ひな飾り展、お散歩マーケット、震災復興元気市等の各種催事を主催、または協力する。市内飲食店、宿泊施設、地場食品・ご当地グルメの振興を図る。